

研究部会報告



●システム最適化●

●第3回

日時：昭和59年9月28日(金) 14:00~17:00

場所：コンピュータ・サービス研究会議室(出席20名)

- (1) グラフ被覆問題の計算の複雑さ
増山 繁(京都大学工学部)
- (2) アメリカの経営情報科学の現状
西田俊夫(大阪大学工学部)

内容 (1)は従来の被覆問題の一般化で、カバーするものもある種のグラフである。またその応用も話された。(2)は西田先生が夏に経営視察団のチーフとしてアメリカの大学、企業を調査された時の話で、アメリカの経営情報科学の現状について大変興味深かった。

●第4回

日時：昭和59年11月21日(水) 14:00~17:00

場所：帝人ビルディング研究会議室(出席19名)

- (1) 「多目的計画と対話型Fuzzy意思決定手法」
坂和正敏(神戸大学工学部)
- (2) 「確率的設備配置問題」
塩出省吾(大阪大学工学部)

内容 (1)は坂和氏独自のFuzzy多目的意思決定理論の研究でホットな話題で一杯であった。(2)は需要点や重みが確率変動する場合に、どのように設備を配置すればよいかの話で、特にサンプリングによる情報の価値を設備配置問題に導入した点は興味深かった。

●未来分析●

●第15回

日時：12月1日(土) 14:00~17:00

場所：東京都勤労福祉会館, 出席者：14名

テーマ：ME(マイクロエレクトロニクス)化と社会経済水準への影響—その評価方法論を中心に

発表者：杉野 隆(新日鐵)

最近のFA, OAの伸びはすさまじいものがあり、それが社会システム、とりわけ社会経済水準にどのようなインパクトを与えるかが最大関心事であった。今回の研究において、労働問題を含め、そのアプローチが体系的

に整理できたことは大きな収穫であった。

●意思決定のための会計情報●

●第14回

日時：12月1日(土) 13:00~16:00

場所：慶応義塾大学ビジネススクール 出席者：11名

内容：

- (1) 不活性在庫削減の経済的効果(金沢工業大学：今沢明男)
- (3) MDSSにおける非線形定義式の処理方法(慶応義塾大学：大島 諭)
- (3) リースと買い取りの経済性分析(慶応義塾大学：伏見多美雄)

●決定モデルとその応用●

●第4回

日時：9月22日(土)

場所：大阪大学基礎工学部数理教室 出席者：15名

講師・テーマ：

- (1) 寺岡義伸(姫路工業大学)
「非0一和 Silent-noisy Duel における情報の価値」
- (2) 玉置光司(追手門学院大学)
「Secretary-problem に関する論文の紹介」

●第5回

日時：10月20日(土)

場所：大阪大学基礎工学部数理教室 出席者：20名

講師・テーマ：

- (1) 菊田健作(富山大学)
「Large Core をもつゲームについて」
- (2) 坂口 実(大阪大学)
「Entropy Models of Brand-Purchase Behavior」

●第6回

日時：11月17日(土)

場所：大阪大学基礎工学部数理教室 出席者：15名

講師・テーマ：

- (1) 中井暉久(大阪大学)
「発見確率の改善をともなる探索モデルについて」
- (2) 栗栖 忠(大阪大学)
「ある Scheduling 問題について」